

常任委員会・特別委員会活動報告

厚生文教常任委員会

① 俱知安厚生病院医療機能検討委員会で報告された常勤医師数・利用患者数・収支実績の推移・今後の取り組みと課題について説明を受け、羊蹄山麓への2億円の財政支援要請について報告を受けました。

② データ流用等の改ざんが大きい報道された杭打ち工事について、俱知安中学校耐震改修工事、学校給食センター建設工事における杭打ち工事については、報道されているようなデータの流用等がないと判断したとの報告がされました。

③ 老朽化している羊蹄山ろく発達支援センターについて、利用者数や事業内容の確認、駐車場の確保や部屋数の確保が難しくなってきたことなどから、施設の確保について今後の方向性について説明を受けました。

主だった案件は以上で

したが、他に国民健康保険税条例の一部改正案や第4回定例会への補正予算案の審議等活発な委員会を進めています。

経済建設常任委員会

12月末までの主な動きは、双葉ダムの視察、水道課関連の誤過納に対する審議や地方創生等への補正予算対応と、ひらふ地区景観条例に係る対応が主となりました。

毎年、冬を目指し建築工事などが活発になる二セコひらふ地区ですが、美しい景観を守り育てる条例、いわゆる「景観条例」を平成20年に制定し規制をかけてきました。

しかし、最近条例を理解していない工事業者や外国人所有物件の無届けの改築、建築。工事自粛期間中の工事などの事例が増えてきており、現状把握と今後の対策について条例改正も視野に入

自衛隊駐屯地特別委員会

特に景観条例は「景観法」を根拠にしている条例で、建築基準法とは別の規制になります。建築基準法を根拠とした指導が求められる事も多いのが事実です。

しかし監督官庁は北海道後志振興局となるため、本町との更なる情報共有と連携で規制の実効性を担保するよう求めています。

国の新年度予算の編成に向け、本年度も「俱知安駐屯地の拡充を求める要望」活動を実施しました。

平成27年11月5日に札幌、北部方面総監並びに第11旅団長へ要望。11月20日に中央、防衛大臣含む政務三役、陸上幕僚長含む陸上幕僚幹部、事務次官含む防衛官僚他、防衛関係国会議員へ要望。併せて俱知安駐屯地出身者で構成される「在京俱

知安会」交流会へ参加しました。

俱知安駐屯地は原子力発電所から30km圏内（UPZ）にある全国で唯一の駐屯地であり、防衛省ではテロ等に備えての警戒監視態勢の向上を図るため、俱知安駐屯地に情報隊の新編を予定しており、新年度予算案に関連予算が盛り込まれました。

現時点では約50人が増員となる見込みで、周辺環境が整い次第、順次隊員の異動が行われる予定です。

先輩諸氏並びに町民一丸となった、長年の地道



防衛省への自衛隊拡充要望

な要望活動の成果です。関係各位のご尽力に改めて心より感謝申し上げます。

議会活性化特別委員会

3月末までに「まちなか懇談会」を開催します。議会のほうから課題となるテーマに沿って関係する団体に声を掛け行う「呼びかけ」懇談会です。3力所で行う予定です。

なお、「出前」懇談会は何時でも受け付けていますので、ご連絡ください。

『議会報告会』を開催するべく準備を進めています。まちなか懇談会とは違って、新年度予算や議決した案件などの報告とともに皆さんのご意見を聞かせていただく内容です。町民の皆さんへの情報提供と皆さんのご意見を町政に反映するための貴重な場と位置付けています。

開催は、4月中旬を予定していますので、皆さんの参加をお願いします。

統合保育所に関する特別委員会

統合保育所建設に伴う基本設計の策定において「提案型」プロポーザル方式」で業者決定をすすめる報告が委員会にされました。

10月22日に9社の応募の中から株式会社久米設計に決定され、今年度中に基本設計の策定に着手します。

現在、基本計画の策定を福祉医療課等、関係課との協議が行われており、1月末をめどに、専門関係者の保育士・PTA関係者からなる懇談会を設置し、現場の意見を取り入れた基本計画が作られます。

今後は、平成28年度に地質調査の後、具体的な実施設計策定業務に入り、平成29年度から建設に着手しますが、委員会としても現場の意見を配慮した中で、本町の未来を担う子ども達に素晴らしい保育所を提供するべく議論をしていきたいと思います。

総務常任委員会

委員構成（5名）

委員長 榑 政信

副委員長 笠原 啓仁

委員 坂井 美穂

門田 淳

古谷 眞司



地方創生総合戦略

12月定例会にて 調査中間報告

「総合戦略」の策定について、担当課からの説明や各種資料の調査と共に委員会としても総合戦略に取り組むべき事項について検討を行ってきました。各委員の意見を基に検討を行い、最大公約数的な提言として10月23日に町長に対して提言を行い、意見交換をしました。また、総合戦略に向けて行った提言事項に直接的に関わりのある子育て世代や農業や商工業に従事している若い世代の方に参考人として来ていただき、12月3日の委員会で皆さんのご意見を聞かせていただきました。また調査の途中ですが、12月定例会において調査中間報告を行いました。1月には、総合戦略の素案の説明を受けました。現在も情報共有を図りながら調査を継続中です。

「地方創生に向けた総合戦略への提言」

- ① 外国語教育の強化
外国人が多数居住し、観光業を担っている町の特殊性を生かした教育の充実等
- ② 農業と観光産業
農業の担い手、新規就農など観光と連携した仕組みづくり等
- ③ 住まい
住替えの仕組み、季節雇用や低家賃等住環境の支援等
- ④ 子育て支援
妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援等
- ⑤ 医療機関の充実
子供を産み育てる医療や多言語に対応した医療環境の充実等
- ⑥ エリアマネージメントの確立、推進
外国人との共生や協働による国際リゾート地としてのグレードアップ等

町民との意見交換

総合戦略に対する町民の皆さんからいただいたご意見の主なものは、
・ 倶知安は道内でも独特な地域。外国語の教育とか面白い。方向性を間違わずに差別化を図ってほしい。
・ TPPに対応した農業をどうやっていくか。
・ 輸出もポイントになる。
・ 基幹産業である農業を大事にしながら、規制のある中、観光と共にどう伸ばしていきたいか。
・ 安定して生活できる雇用の場と住まいで若者が

が帰ってこれるように、いかに自立自活して行けるか。地域資源を活かし、特化した戦略を望む。
・ 住まいや環境が大事。住宅情報もワンストップコンシェルジュが必要。
・ 子育てには、病院関係が充実していると安心できる。
・ 子供たちが英語を楽しんでいる。遊んで覚えるような英会話で話せるようになるという。など貴重なご意見をいただきました。



町民との意見交換

ふるさと納税返礼

12月1日のスタート

倶知安じゃが、地酒、スイーツやラフティング利用券などの7取扱事業者をもってスタートしました。

12月末現在の受け付け状況は、寄附件数で237件、金額で292万円となっているので今後期待が出来ます。

今後の品目に関して、倶知安産米、そば製品や倶知安産牛肉、お茶、レストラン食事券やスキーリフト券、ホテル宿泊券などについて、現在、取り扱いに向けて交渉を続けています。

・ 業社からなぜ手数料
・ 通常価格での品物
条例改正をして寄付者の意向を尊重できるように条例改正についても検討を進めていきたいと考えています。